

第46号

平成31年 3月 1日発行
— 編集・発行 —
豊津地区まちづくり委員会
(広報記録専門部)

とよつだより

第14回 とよつ かるた大会



将来の名人・クイーンを目指し

一月二十七日、今年も元気な声が公民館に響き渡りました。十四回目となる正月恒例の「とよつかるた大会」です。

今回は特に豊津小学校児童の参加率が高く、全校生徒六十一人の学校から四十二人ものが参加がありました。幼児、一般の大人、シニアの方々の参加者を含めると五十八人になり、最近では最もにぎやかなかるた大会となりました。

かるたで競った後は、みんなで仲良く餅つきをして、お雑煮などでお腹をいっぱいにし、紅白の花餅の飾り付けをしました。
(優勝者は二面で紹介しています。)



豊津小の児童たち



杵、臼での餅つき



大判かるた取り



シニアの皆さん



花餅飾り

かるた大会 優勝者紹介

幼児の部

君和田 きみわた
琴ちゃん こと



優勝コメント
「うれしかった!」

低学年の部

山町 やままち
彩奈 さん さな



優勝コメント
「今年も勝てて良かった」

中学年の部

木村 きむら
友香 さん ともか



優勝コメント
「来年も一位を取りたい」

高学年の部

君和田 きみわた
茉歩 さん まほ



優勝コメント
「一位を取れて良かった」

一般の部

山町 やままち
未来 さん みく



優勝コメント
「一位を取れてうれしいです」

夫婦で五連覇

シニアの部

君和田 きみわた
美智子 さん みちこ



一人で五連覇

優勝コメント
「このかるた大会を生きがいとして頑張っています」

『ふれあい クリスマス会』 (うづら会)

十二月十四日、地区の高齢者三十一名を招いて、うづら会(豊津地区社協)による、恒例の『ふれあい クリスマス会』が開かれました。大船津保育園年長組園児のかわいらしい演技、豊津小児童の合唱、交通安全母の会の講話、語り部の会による民話の披露、その後の美味しい煮込みハンバーグの昼食と、参加された方々は大いに堪能されたようでした。

この催しに三十九人もの方々にボランティアで関わっていただき、『豊津の力』を改めて感じました。皆さん、ありがとうございました。(参加者の声)
・ かわいい園児のお遊戯や小学生の歌声を聴き、楽しい一日でした。
・ 語り部の会の話は楽しかったです。



高齢者教室(移動教室)

十二月五日(水)
地区の高齢者二十六名が、茨城県警察本部、タカノフーズ納豆工場・博物館を見学してきました。

県警では、ニセ電話詐欺防止の歌

を歌唱体験し、その様子が茨城新聞に掲載されました。



詐欺防止の歌
もしもあちやんち
やんばあちゃんよ
おれだおれだ
お金を送って振り
込んでも詐欺です
ダメダメ詐欺です
ニセ電話詐欺です
(もしも詐欺です)
の替え歌です)



とよつまつり 賑やかに 開催



← 今年の目玉作品は『ネコバス』でした！

十一月十八日、『第二十三回とよつまつり』が開かれました。当日は好天に恵まれ、豊津地区は元より地区外からも、子どもから高齢者まで多くの方々が訪れ大盛況でした。館内には、公民館で活動するクラブの皆さんや豊津小児童の素敵な作品が展示され、称賛の目が注がれていました。また、今回から館内に移行した芸能発表では、恒例の大正琴、ギターの演奏、ダンスやコーラス



等の発表の他、初めて豊津小児童の合唱が披露され、大きな拍手が送られました。また館外には、様々な模擬店が並び、カレーやお餅などの飲食物や「豊津の八百屋」の新鮮な野菜が安く売られ、多くのお客さんで賑わっていました。飲食スペースでは

世代を超えて歓談しながら舌鼓を打つといった微笑ましい光景が見受けられました。会場で来訪者の目を引いた大きなオブジェ『ネコバス』。「でんえん」の皆さんが大変な労力を費やして制作しました。制作に関わった方々、本



日本の味 醤油を学びました ～男の料理～

十二月九日、キッコーマンもの知りしようゆ館（千葉県野田市）とアサヒビール茨城工場（守谷市）で「男の料理」移動研修を行いました。

二十人の参加でしたが、しようゆ館では、ビデオ視聴や蔵・工場の見学を、ビール工場ではビデオ視聴後に工場見学、お楽しみ試飲を満喫してきました。

（参加者の声）

・あつという間の一日で、楽しかったです。

・醤油工場の見学は初めてでしたが、満足しました。

・ビール、美味しかったです！



華やかに正月を迎える準備 ～楽学セミナー～

十二月二十七日、年末恒例の「楽学セミナー」フラワーアレンジメントとお正月を彩る花々を行いました。

先生から、正面から見た時の花材の高さなどのアドバイスを受け、参加者十人それぞれに個性的な作品を仕上げました。力作を家庭に飾り、きつと華やかなお正月になったことでしょう。

（参加者の声）

・花の配置により仕上がりが異なり、奥の深さをあらためて思いました。



かるためぐりシリーズ ㉔



（み）神輿
かっいで
雨乞い天神

爪木田園都市センター入口の右側に鎮座する「天神社」（別名・雨乞い天神）は、もともと鶴来山鹿王院と呼ばれ、下生地区にあつたものが、寺の移転とともに爪木に移つたと言われています。

昭和初期までは、日照りが続くと、若者たちは神輿を担ぎ出し、北浦で揉み、雨乞いをしたと言われています。

天神信仰は、神様と崇められた菅原道真公の神霊に対する信仰をいいます。道真公が左遷された大宰府（福岡県）で亡くなつた後、天変地異、自然災害が次々と起こつたことから、道真公の怨霊の仕業ではないかとの噂が広まり、後に水田耕作に必要な雨と水をもたらす雷神（天神）として、広く全国に崇敬されたそうです。

やがて、道真公の学問に対する偉大な実績から、「学問の神」と崇められるようになり、全国津々浦々に天神様天満宮として建立され、今に至っています。



地域支援事業「でんえん」の取組

今年度は、2020東京五輪で本市がサッカー会場となることから、訪日外国人に対する『おもてなし英会話』講座を計画しました。結局講師となる市内在住の外国人の方がなかなか見つからず、一回しか開催ができませんでしたが、五輪の機運醸成に少しは役立ったのではないかと感じています。

また、とよつまつりに於いて『ネコバス』を制作しました。この作品は大好評で、まつりの後も、市内外から親子の見学者が沢山いらつしやいました。



ソフトバレーボール大会

十一月二十五日（日）

優勝 大船津B
準優勝 大船津A

豊津小の教員チームを含む六チームが参加、楽しく盛り上がったソフトバレー大会でした。

順位は付けたものの、勝敗とは別に「健康ファースト」を身を持って体感できた一日となりました。



◆◆つばやき◆◆
今年は、五月一日に新天皇即位、改元、更に茨城ゆめ国体と、色々忙しい年になります。新しい元号を迎え心機一転スタートしましょう。

（H）
昨年のとよつふれあい運動会を取材したテレビ東京の番組「世界！ニッポン行きたい人応援団」が、先日放送されました。

（F）
メキシコから来たペドロさんとアイメさんが参加したおぼけのQちゃん放映された、小麦粉で真っ白になった姿に、お茶の間では笑いあふようなことでしょう。

（F）
来年はオリンピックが開催されます。世界から豊津に來たい人応援したいです。